

(様式第2号)

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年10月10日
事業者名:	株式会社野田建設

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	ISO14001認証に基づく環境マネジメント体制を整備するとともに、SBT認定を取得し、温室効果ガス排出削減に取り組んでいます。	⑦エネルギーをみんなに、そしてクリーンに、⑫つくる責任 つかう責任	ISO14001取得(平成12年4月10日審査登録) SBT イニシアチブから認証(中小企業版)を取得	指標	Scope1 および Scope2
				目標	2030年度までに2021年度比で37.8%削減する
社会	社員の健康づくりや学びの機会を重視し、産業医による健康講話や情報配信による意識向上、技術者向けの定期教育や外部講習への参加を通じて、人材育成と福祉の向上に取り組んでいます。	③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに	社員の健康維持と技術力向上の両立を目的に、毎月1回の技術職向け能力向上教育を継続的に実施しています。 また、年1回の産業医によるオンライン健康講話の開催や、「ミナモの食卓メモ」の社内メール配信などを通じて、全社員の健康意識を高めています。 さらに、外部主催のBIM講習会への参加を推奨し、デジタル技術の習得による働き方改革と学びの機会拡充を進めています。	指標	月例技術教育の参加人数 健康講話の参加人数 外部講習(BIM等)への参加人数
				目標	令和9年度までに、月例技術教育、健康講話および、外部講習への参加人数を令和7年度比で30%増加させ、全社員の健康意識と専門スキルの向上を図る。
経済	建設DXの推進により業務の効率化とペーパーレス化を進め、環境負荷の低減と生産性向上を図っている。	⑪住み続けられるまちづくりを、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	人事労務では勤怠管理システムを導入し、現場ではデジタル技術を活用した施工管理を進めています。 工事データはクラウドで共有し、社内連絡はビジネスチャットを活用することで、業務全体の効率化を図っています。	指標	電子申請・電子承認の実施率
				目標	令和9年度までに、社内書類の電子申請・電子承認率を90%以上に引き上げる

ガバナンス	チェック	
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>  野田システム (ISO9001・14001・45001 <申請中>) を全社的に運用し、PDCAサイクルに基づく継続的な改善体制を整備している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。  <a href="https://www.nodakensetsu.co.jp/images/news/sdgs_sengen.pdf">https://www.nodakensetsu.co.jp/images/news/sdgs_sengen.pdf</a>